



タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT2382S		
科目名	経営学		
担当教員	崎本 武志		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 2		
講義室	1502	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門・危機管理		
科目の位置付け（開発能力）	<p>■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E〔学識・専門技能〕専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP7-C〔他者理解・倫理観・公共心〕人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み、社会的な存在としての自己の行動原理を獲得することができる。 DP3-G〔状況把握力・判断力〕自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。</p> <p>■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1 学識と専門技能（60%） I1 理解・分析と読解（30%） G1 状況把握（10%）</p>		
教員の実務経験	なし		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージと対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	<p>■ 授業概要 「レジリエンス」とは、英語で回復力や強靱性という意味をもつ単語です。より分かりやすい言葉でイメージすると、柳の枝のような「しなやかさ」を表します。自然災害であれ人的災害であれ、その発生を完全に防ぐことは不可能です。そのため、様々な事態への事前の十分な備えをしたうえで、発災時には柔軟で効果的な対応を行うことが必要になります。本授業では、発災前、事中、事後において、組織や個人がどのようにしたら「しなやかな」対応を行う事ができるかについて、理論と事例を用いて考えていきます。</p> <p>■ キーワード レジリエンス、危機管理、リーダーシップ</p>		
授業の趣旨	<p>■ 副題 効果的な災害対応に求められる組織や個人の力</p> <p>■ 授業の目的 本授業を受講することにより、災害や危機への対応能力向上において、組織や個人にどのようなことが求められるのかについて理解することを目的とします。</p> <p>■ 授業のポイント 授業では、自然災害と人的災害を取り上げます。災害や危機への柔軟で効果的な対処を行う</p>		

	ために、組織や個人に求められる能力について考えていきます。さらに、災害対応のための制度設計のあり方や、その運用を担うリーダーなどの役割とその課題についてもみていきます。								
総合到達目標	<p>「災害レジリエンス」関連する技術や知識を身に着けるために、主体的に関連する理論や事例について考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■災害レジリエンスの概念について説明できる。E1 ■災害対応の課題について説明できる。G1 ■災害に強い組織や地域社会を構築するための企画を提示できる。I1 ■災害に強い組織や地域社会を築くための個人、地域、行政の役割について説明できる。I1 								
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■「リアクションペーパー」4回（20%）：適用ルーブリックE1 （評価の観点）授業で扱った内容を理解し、自分なりの考えをまとめているか評価を行います。 （フィードバック方法）翌週の授業で、リアクションに対するコメントを行います。 ■期末レポート1回（80%）：適用ルーブリックE1、I1、G1 （評価の観点）授業で扱った理論等を理解し、それを具体的な事例に当てはめて分析が行えるかを評価します。 （フィードバック方法）最終回の授業で、解説を行います。 								
履修条件	特にありません。								
履修上の注意点	授業中、講師の許可なくスマートフォン等を使用することは控えてください。								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td> <p>以下の内容は予定です。受講者数や講義への理解の状況によって、内容を変更することがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 ガイダンス聴講と個別質問により、当科目の到達目標や学習計画、授業運営や成績評価方法を想起できるようになるとともに、それらを自分のコンピテンスや希望キャリア、学修計画と照らし合わせ、当科目を今期履修するか否かの意思決定ができるようになる(I1)。 ③予習(120分) シラバスを通読しておく。 ④復習(120分) 講義ノートを確認して、自分の学修計画と他の履修科目との関係について検討する。 </td> </tr> <tr> <td>2</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ①授業テーマ 減災（Mitigation）とレジリエンス ②授業概要 危機管理の4段階モデルの第1段階である「減災」において、どのようにレジリエンスを確保するのかについて説明できるようになる。 ③予習(120分) 災害発生時の影響を減じるための取組である「減災」に関する資料やデータを図書館等で探し、その内容について把握しておく。 ④復習(120分) 授業ノートを整理し、不明な点があった場合には次回の授業で質問が出来るよう備えておく。 </td> </tr> <tr> <td>3</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ①授業テーマ 事前準備（Preparedness）とレジリエンス ②授業概要 危機管理の4段階モデルの第2段階である「事前準備」において、どのようにレジリエンスを確保するのかについて説明できるようになる。 ③予習(120分) 災害発生時の対応についての計画等を策定する「事前準備」に関する資料やデータを図書館等で探し、その内容について把握しておく。 ④復習(120分) 授業ノートを整理し、不明な点があった場合には次回の授業で質問が出来るよう備えておく。 </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	<p>以下の内容は予定です。受講者数や講義への理解の状況によって、内容を変更することがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 ガイダンス聴講と個別質問により、当科目の到達目標や学習計画、授業運営や成績評価方法を想起できるようになるとともに、それらを自分のコンピテンスや希望キャリア、学修計画と照らし合わせ、当科目を今期履修するか否かの意思決定ができるようになる(I1)。 ③予習(120分) シラバスを通読しておく。 ④復習(120分) 講義ノートを確認して、自分の学修計画と他の履修科目との関係について検討する。 	2	<ul style="list-style-type: none"> ①授業テーマ 減災（Mitigation）とレジリエンス ②授業概要 危機管理の4段階モデルの第1段階である「減災」において、どのようにレジリエンスを確保するのかについて説明できるようになる。 ③予習(120分) 災害発生時の影響を減じるための取組である「減災」に関する資料やデータを図書館等で探し、その内容について把握しておく。 ④復習(120分) 授業ノートを整理し、不明な点があった場合には次回の授業で質問が出来るよう備えておく。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ①授業テーマ 事前準備（Preparedness）とレジリエンス ②授業概要 危機管理の4段階モデルの第2段階である「事前準備」において、どのようにレジリエンスを確保するのかについて説明できるようになる。 ③予習(120分) 災害発生時の対応についての計画等を策定する「事前準備」に関する資料やデータを図書館等で探し、その内容について把握しておく。 ④復習(120分) 授業ノートを整理し、不明な点があった場合には次回の授業で質問が出来るよう備えておく。
回	内容								
1	<p>以下の内容は予定です。受講者数や講義への理解の状況によって、内容を変更することがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 ガイダンス聴講と個別質問により、当科目の到達目標や学習計画、授業運営や成績評価方法を想起できるようになるとともに、それらを自分のコンピテンスや希望キャリア、学修計画と照らし合わせ、当科目を今期履修するか否かの意思決定ができるようになる(I1)。 ③予習(120分) シラバスを通読しておく。 ④復習(120分) 講義ノートを確認して、自分の学修計画と他の履修科目との関係について検討する。 								
2	<ul style="list-style-type: none"> ①授業テーマ 減災（Mitigation）とレジリエンス ②授業概要 危機管理の4段階モデルの第1段階である「減災」において、どのようにレジリエンスを確保するのかについて説明できるようになる。 ③予習(120分) 災害発生時の影響を減じるための取組である「減災」に関する資料やデータを図書館等で探し、その内容について把握しておく。 ④復習(120分) 授業ノートを整理し、不明な点があった場合には次回の授業で質問が出来るよう備えておく。 								
3	<ul style="list-style-type: none"> ①授業テーマ 事前準備（Preparedness）とレジリエンス ②授業概要 危機管理の4段階モデルの第2段階である「事前準備」において、どのようにレジリエンスを確保するのかについて説明できるようになる。 ③予習(120分) 災害発生時の対応についての計画等を策定する「事前準備」に関する資料やデータを図書館等で探し、その内容について把握しておく。 ④復習(120分) 授業ノートを整理し、不明な点があった場合には次回の授業で質問が出来るよう備えておく。 								

	ておく。
4	<p>①授業テーマ 応答 (Response) とレジリエンス</p> <p>②授業概要 危機管理の4段階モデルの第3段階である「応答」において、どのようにレジリエンスを確保するのかについて説明できるようになる。 第1回～第4回の授業内容に関するリアクションペーパーを、授業の最後に提出する。(翌週に、リアクションペーパーの内容へのコメントをします。)</p> <p>③予習(120分) 災害発生時の「応答」に関する資料やデータを図書館等で探し、その内容について把握しておく。</p> <p>④復習(120分) 授業ノートを整理し、不明な点があった場合には次回の授業で質問が出来るよう備えておく。</p>
5	<p>①授業テーマ 復旧復興 (Recovery) とレジリエンス</p> <p>②授業概要 危機管理の4段階モデルの第4段階である「復旧復興」において、どのようにレジリエンスを確保するのかについて説明できるようになる。</p> <p>③予習(120分) 災害発生後の「復旧復興」に関する資料やデータを図書館等で探し、その内容について把握しておく。</p> <p>④復習(120分) 授業ノートを整理し、不明な点があった場合には次回の授業で質問が出来るよう備えておく。</p>
6	<p>①授業テーマ 災害レジリエンスとリーダーシップ：危機認知(1)</p> <p>②授業概要 災害対応においてリーダーらが担う「危機認知」のポイントと課題について説明できるようになる。</p> <p>③予習(120分) リーダーらが災害等の初期段階でそのリスクを認知する「危機認知」に関連する資料やデータを図書館等で探し、その内容について把握しておく。</p> <p>④復習(120分) 授業ノートを整理し、不明な点があった場合には次回の授業で質問が出来るよう備えておく。</p>
7	<p>①授業テーマ 災害レジリエンスとリーダーシップ：危機認知(2)</p> <p>②授業概要 前回に引き続き、災害対応においてリーダーらが担う「危機認知」のポイントと課題について説明できるようになる。 第5回～第7回の授業内容に関するリアクションペーパーを、授業の最後に提出する。(翌週に、リアクションペーパーの内容へのコメントをします。)</p> <p>③予習(120分) リーダーらが災害等の初期段階でそのリスクを認知する「危機認知」に関連する資料やデータを図書館等で探し、その内容について把握しておく。</p> <p>④復習(120分) 授業ノートを整理し、不明な点があった場合には次回の授業で質問が出来るよう備えておく。</p>
8	<p>①授業テーマ 災害レジリエンスとリーダーシップ：意思決定と調整(1)</p> <p>②授業概要 災害対応においてリーダーらが担う「意思決定と調整」のポイントと課題について説明できるようになる。</p> <p>③予習(120分) リーダーらが災害等への対応において行う「意思決定」とその後の組織間「調整」に関連する資料やデータを図書館等で探し、その内容について把握しておく。</p> <p>④復習(120分) 授業ノートを整理し、不明な点があった場合には次回の授業で質問が出来るよう備えておく。</p>

9	<p>①授業テーマ 災害レジリエンスとリーダーシップ：意思決定と調整(2)</p> <p>②授業概要 前回に引き続き、災害対応においてリーダーらが担う「意思決定と調整」のポイントと課題について説明できるようになる。</p> <p>③予習(120分) リーダーらが災害等への対応において行う「意思決定」とその後の組織間「調整」に関連する資料やデータを図書館等で探し、その内容について把握しておく。</p> <p>④復習(120分) 授業ノートを整理し、不明な点があった場合には次回の授業で質問が出来るよう備えておく。B39:B40</p>
10	<p>①授業テーマ 災害レジリエンスとリーダーシップ：危機コミュニケーション(1)</p> <p>②授業概要 災害対応においてリーダーらが担う「危機コミュニケーション」のポイントと課題について説明できるようになる。 第8回～第10回の授業内容に関するリアクションペーパーを、授業の最後に提出する。(翌週に、リアクションペーパーの内容へのコメントをします。)</p> <p>③予習(120分) リーダーらが、災害時に被災者や一般市民、メディアに対し行うコミュニケーションに関する資料やデータを図書館等で探し、その内容について把握しておく。</p> <p>④復習(120分) 授業ノートを整理し、不明な点があった場合には次回の授業で質問が出来るよう備えておく。</p>
11	<p>①授業テーマ 災害レジリエンスとリーダーシップ：危機コミュニケーション(2)</p> <p>②授業概要 前回に引き続き、災害対応においてリーダーらが担う「危機コミュニケーション」のポイントと課題について説明できるようになる。 授業での学習内容を確認するための期末レポートを設定します。締め切りは第14回の講義開始前までを計画しています。第15回の授業で、ポイントの解説を行います。</p> <p>③予習(120分) リーダーらが、災害時に被災者や一般市民、メディアに対し行うコミュニケーションに関する資料やデータを図書館等で探し、その内容について把握しておく。</p> <p>④復習(120分) 授業ノートを整理し、不明な点があった場合には次回の授業で質問が出来るよう備えておく。</p>
12	<p>①授業テーマ 災害レジリエンスとリーダーシップ：危機終了と説明責任</p> <p>②授業概要 災害対応においてリーダーらが担う「危機終了と説明責任」のポイントと課題について説明できるようになる。</p> <p>③予習(120分) リーダーらが災害を終了させ説明責任を担う作業に関連する資料やデータを図書館等で探し、その内容について把握しておく。</p> <p>④復習(120分) 授業ノートを整理し、不明な点があった場合には次回の授業で質問が出来るよう備えておく。</p>
13	<p>①授業テーマ 災害レジリエンスとリーダーシップ：学習</p> <p>②授業概要 災害対応においてリーダーらが担う「学習」のポイントと課題について説明できるようになる。 第11回～第13回の授業内容に関するリアクションペーパーを、授業の最後に提出する。(翌週に、リアクションペーパーの内容へのコメントをします。)</p> <p>③予習(120分) 災害対応が一段落した後にリーダーらが行う検証作業である「学習」に関する資料やデータを図書館等で探し、その内容について把握しておく。</p> <p>④復習(120分) 授業ノートを整理し、不明な点があった場合には次回の授業で質問が出来るよう備えておく。</p>

	<p>14</p> <p>①授業テーマ 事例研究</p> <p>②授業概要 前回までの授業で学んだ内容を具体的な事例に当てはめて検討し、そのポイントについて説明できるようになる。</p> <p>③予習(120分) 前回までの授業ノートを整理し、学習した理論等を事例に当てはめて理解できるようにしておく。</p> <p>④復習(120分) 授業ノートを整理し、不明な点があった場合には次回の授業で質問が出来るよう備えておく。</p>
	<p>15</p> <p>①授業テーマ まとめ、期末レポートに関するフィードバック</p> <p>②授業概要 授業を通じて学んだ理論等を整理し、ポイントについて説明できるようになる。</p> <p>③予習(120分) これまでのノートと資料の内容を確認する。</p> <p>④復習(120分) 授業ノートを整理し、今まで学んだ内容について振り返りを行う。</p>
関連科目	災害対策論 (RMGT3501)、復旧・復興論 (RMGT3511)
教科書	使用しません
参考書・参考URL	Boin, Arjen他『The Politics of Crisis Management: Public Leadership under Pressure (Second Edition)』(2016年) Cambridge University Pressなど 授業中に紹介します
連絡先・オフィスアワー	授業中に指示します
研究比率	<p>■危機管理領域との対応 災害マネジメント75% ; パブリックセキュリティ10% ; グローバルセキュリティ10% ; 情報セキュリティ5%</p> <p>■危機管理と法学とのバランス 危機管理学90% : 法学10%</p>

